

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-128	小学校	算数	算数	5 学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
4 大日本	算数 514	新版 たのしい算数 5 年		

I 編修の基本方針

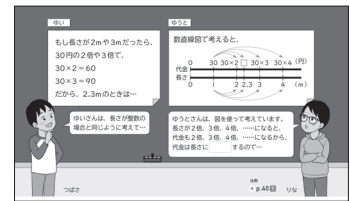
「新版 たのしい算数」は、子どもたちに「学ぶたのしさ」「わかるよろこび」を与えることを目指して編集しました。知識・技能の定着はもとより、考える力、判断する力、表現する力を育むことができるよう、問題解決の流れを具体的に提示したり、答えや考え方の一部を見せずに子どもたちの気づきを促す場面を設けたりしています。また、算数の見方・考え方を働かせながら主体的・対話的に学ぶことができるよう工夫しています。ご家庭や地域でもこの教科書を活用し、子どもたちと一緒に算数のたのしさを感じていただけることを願っています。

「新版 たのしい算数」は次のことを大切にしました

Point
1

考えるってたのしい！を育てる (⇒本紙p.2、3)

主体的・対話的で深い学びを実現するため、具体的でいいねい紙面構成とし、見方・考え方を働かせながら、思考力・判断力・表現力をのばすことができるように様々な工夫をしました。



Point
2

算数大好き！を育てる (⇒本紙p.3)

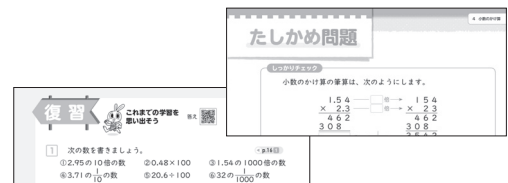
導入や展開を工夫したり、発展的に学習をひろげる様子を盛り込んだりし、主体的に学習が進められるようにしました。さらに、「ふくろう先生になるほど算数教室」を掲載するなどし、学びに向かう力を一層高めることができました。



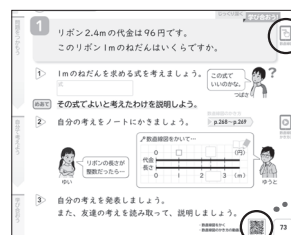
Point
3

わかった!できた！を育てる (⇒本紙p.4)

練習問題を、従来と同様十分な量設けるとともに、単元末問題や復習のページを用意することで、基礎・基本が確実に定着するようにしました。



ウェブコンテンツを大幅に増やしました（5 年は 308 コンテンツ）。練習問題コンテンツや、シミュレーションコンテンツ、アニメーションコンテンツなどを設け、児童の理解を深めることができました。また、教科書上に 2 次元コードを配置し、コンテンツにより素早くアクセスできるようになりました。



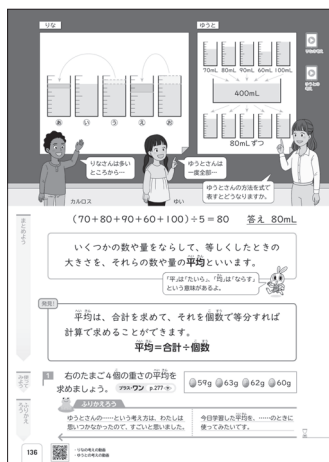
タブレットマークがコンテンツを示しています。

ページ番号の横の 2 次元コードで、そのページのコンテンツにアクセスできます。

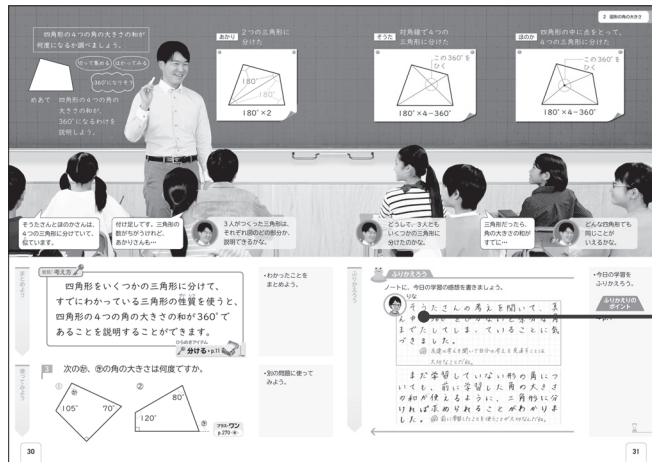
Point 1

考えるってたのしい！を育てる～思考力・判断力・表現力の育成～

- 主体的・対話的で深い学びを実現するよう、重点となる時間を「じっくり深く学び合おう」と設定し、授業の流れ・数学的活動の流れをていねいに示しました。



▲p.136



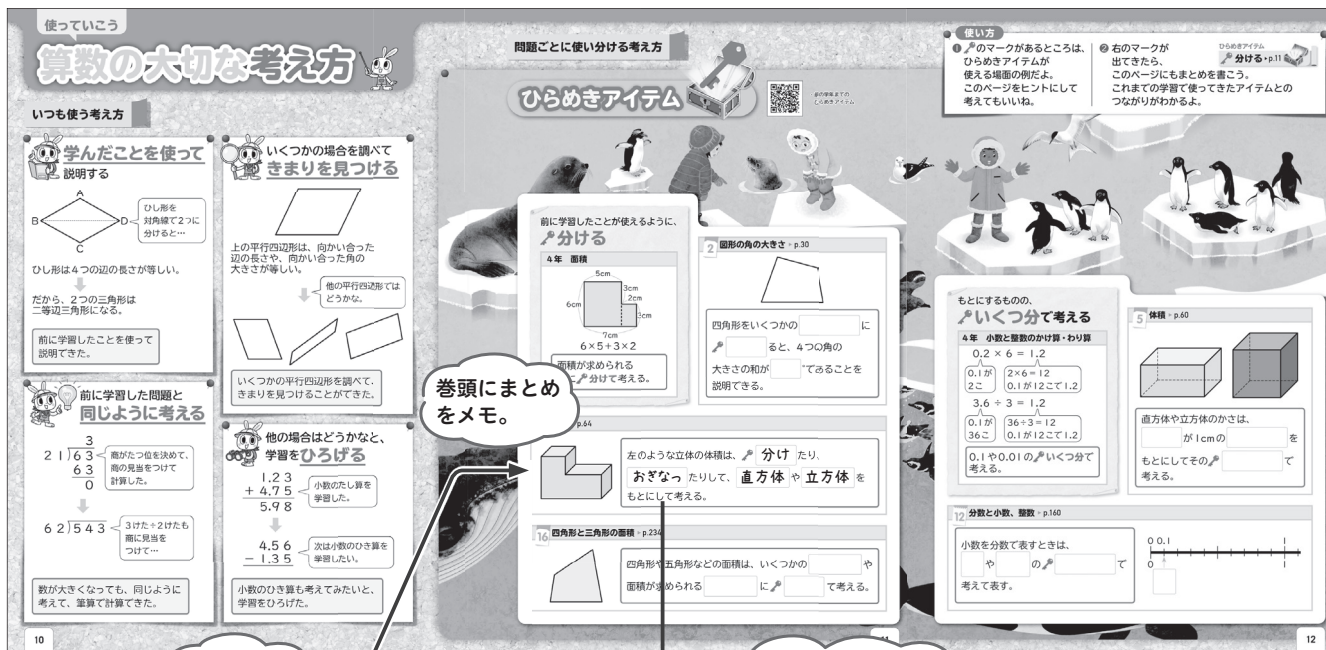
▲p.30～31

授業での児童の話し合いや教師の発問例などをイラストで示し、授業の進め方の参考になるようにしました。

特に単元2では、写真を使い、5ページにわたって詳細に展開しています。

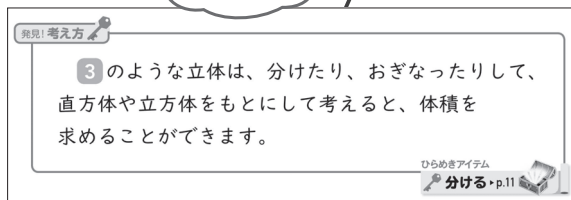
イラストで示された児童を追うことで、1人の児童が思考を深めていく例を示しました。

- 巻頭に「算数の大切な考え方」のコーナーを新設しました。それぞれの問題で使える見方・考え方は「ひらめきアイテム」として、このコーナーにまとめられます。



▲p.10～12

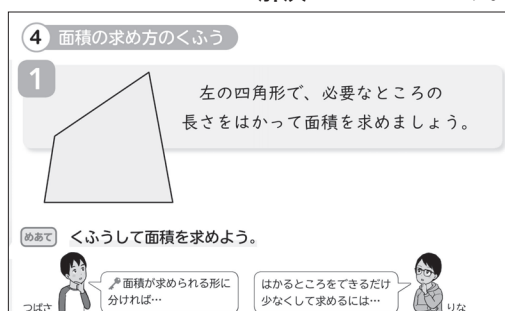
▼p.64



単元内でひらめきアイテムの見方・考え方を働かせるところでは、まとめに「ひらめきアイテム」を提示。巻頭のシートにまとめを記入することで、同じ見方・考え方が使える学習内容をまとめることができます。

集めたアイテムを後の学習の解決に生かす。

集めたアイテムを別の問題の解決などに生かします。

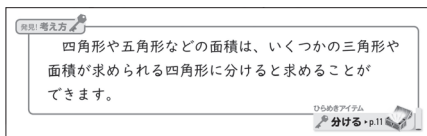


▲p.234

- ③ 単元末の問題に、見方・考え方をたしかめる問題「見方・考え方をたしかめよう」を適宜設定しました。その単元の「発見！考え方」や「ひらめきアイテム」に関連しています。

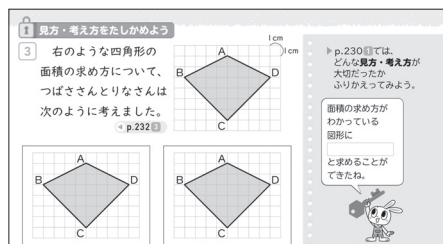
単元内の学習

▼p.234



知識・技能のまとめだけでなく、考え方に焦点をあてたまとめ「発見！考え方」を掲載しています。

単元末のたしかめ問題



◀p.236

側注を設け、単元のどの授業をふりかえるとよいかが明確になっています。

- ④ 各種の学力調査で課題とされている読解力・表現力・活用力などが身につきます。



◀p.197

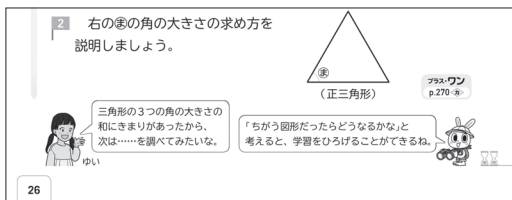
情報を読み取る力や、学習を活用する力を育成する「読み取る力のばそう」を掲載しています。

Point

2

算数大好き！を育てる ～学びに向かう力・人間性等の涵養～

- ① 導入の工夫や、発展的に考える様子の例示などを通して、主体的に学習に取り組めるようにしました。



◀p.26

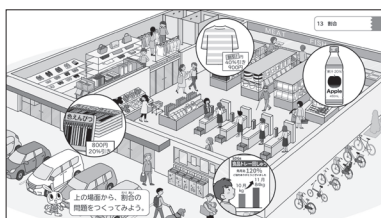
学習をふりかえて、新しい問題を見だししていく様子を例示しました。



◀p.96

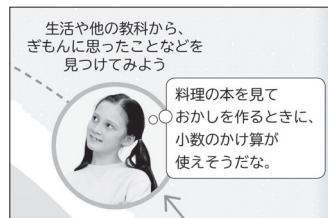
単元や毎時の導入では、児童自身が問題や疑問を見だし、主体的に学習に取り組めるよう題材を工夫しました。

- ② 算数の学習を日常生活や他教科の学習に生かす態度を養います。



▲p.171

学習したことを生活に生かすことのできるよう、題材を工夫しました。また、1～3年では、学習したことを家庭や地域での生活にも生かすよう促す「おうちで算数」を掲載しています。



▲p.7

巻頭の「算数の学び方」でも、学習したことを生活に生かそうとする様子や、発展的に新しい問題を見出す様子を掲載しました。

- ③ 算数のたのしさがひろがるコラム「ふくろう先生になるほど算数教室」を充実させました。

「ふくろう先生になるほど算数教室」では、面白い算数の問題やお話、算数を生かして仕事をされている方へのキャリア教育インタビューなどを掲載しています。算数への興味・関心を高めたり、算数が社会で生かされていることを実感させたりすることができます。

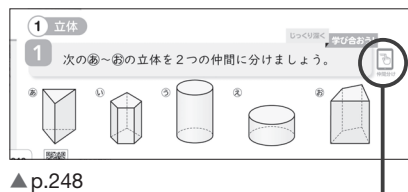


▲p.38



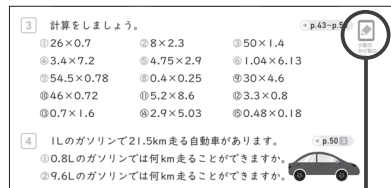
▲p.263

① シミュレーションコンテンツや練習問題など、様々な種類のデジタルコンテンツを豊富に設けました (308 コンテンツ)。



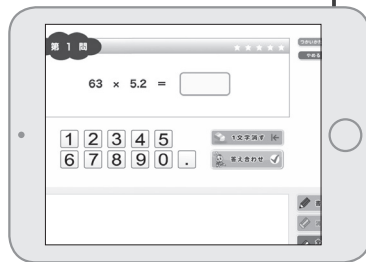
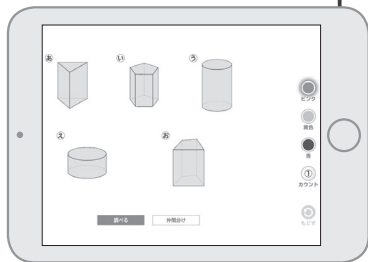
▲p.248

シミュレーションコンテンツでは、簡単に何度でも試行錯誤することができます。



▲p.51

練習問題のコンテンツは、これまでのコンテンツ数から倍増しました。

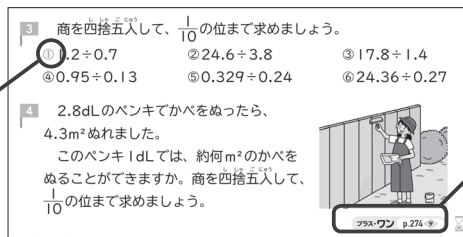


② 充実した適用問題・補充問題で、知識・技能が確実に身につく、定着します。

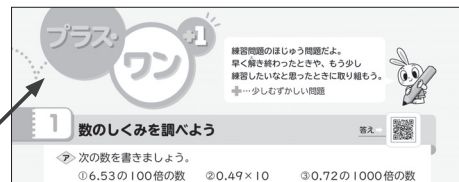
▼p.270

毎時の適用問題は、全単元にわたって十分な量を設けました。

水色の印で問題のタイプ分けを提示。全単元で採用し、時間調整や習熟度別指導に対応しやすくしました。



▲p.86



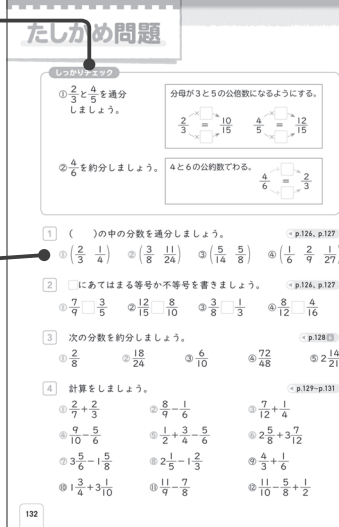
練習問題に対応した巻末の補充問題「プラス・ワン」を全単元にわたり豊富に掲載しました。デジタルコンテンツに解答もありますので、児童自身で答え合わせもできます。

③ 習熟度別指導などの個に応じた指導や自己評価に活用できるように、単元末の「たしかめ問題」を工夫しています。

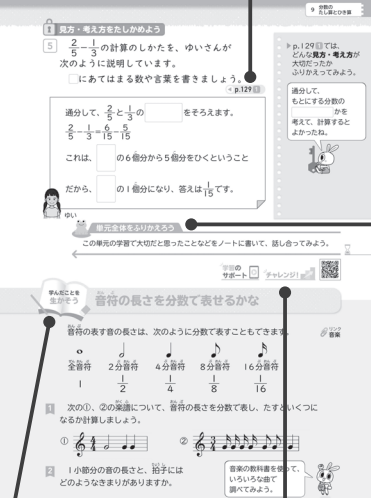
しっかりチェック

用語や計算のしかたなどの基礎・基本を再確認できる「しっかりチェック」を掲載しました。

問題番号には水色の印をつけました。授業時間が限られているときや、習熟度別指導の際に、水色の問題だけ取り組むといった柔軟な使い方ができます。



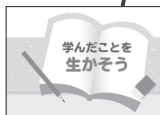
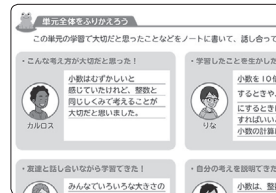
▲p.132~133



ふりかえるページも掲載しました。

単元全体をふりかえろう

単元全体をふりかえろうを新設。第1単元には、こういった観点でふりかえるとよいかの例も掲載しました。



単元の主要な学習内容を動画で解説します。ふりかえりのときだけでなく、授業を欠席した際などに使うことができます。習熟度の高い児童には、「チャレンジ!」の問題をデジタルコンテンツで用意しました。

Ⅱ 対照表

教育基本法の理念にそって、真理を追求し、豊かな人間性と創造性を身につけることができるように、次のような点に配慮して教科書を編修しました。

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	目次	●目次ページには、既習事項や今後の学習とのつながりを記載しました。(第一号)	表紙裏～p.1
	算数の学び方	●巻頭の「算数の学び方」では、学習の進め方を算数の問題解決の流れとしてサイクル状に示し、生活や他教科に学習を生かす様子も掲載しました。(第一、二号) ●ペア・グループ学習の例や、友達の考えのよさを見いだすことなどを掲載しました。(第一、三号)	p.6～9
	算数の大切な考え方	●これまでの学習で使ってきた数学的な見方・考え方をふりかえることができるようにしました。また、学習した見方・考え方をまとめることで、考え方を統合できるようにしました。(第二号)	p.10～15
本編	各単元の構成	●主体的・対話的で深い学びが実現するよう、数学的活動を豊富に取り入れ、知識・技能、思考力・判断力・表現力が育成できるようにしました。(第一、三号)	全体
	じっくり深く学び合おう	●重点となる時間を「じっくり深く学び合おう」と位置づけ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫しました。(第一、三号) ●考えを表現する活動や、問題に対する多様な解決方法を掲載しました。(第二、三号)	p.27～31、 p.43～44、 p.219～220など
	まとめ ひらめきアイテム	●まとめは、知識・技能面だけでなく、考え方に焦点をあてた「発見！考え方」を取り入れました。(第二号) ●様々な場面で使える見方・考え方を「ひらめきアイテム」として掲載しました。学習の中で発見したアイテムは巻頭のシートに記録し、これまでの考え方と統合するとともに、以降の学習で活用できるようにしました。(第二号)	p.60、250など p.11～15
	適用問題	●毎時の適用問題を豊富に掲載し、基礎的・基本的な知識・技能を定着させることができるようにしました。(第二号)	p.26、130～131、 172、228など
	ふりかえろう	●「じっくり深く学び合おう」、「たしかめ問題」のページを中心に、学習感想を書くコーナー「ふりかえろう」を設け、大切な考え方に気づかせたり、自己評価を促したりすることができるようにしました。(第一、二号)	p.22、31など
	たしかめ問題	●単元末の「たしかめ問題」は、「しっかりチェック」を設けるなどし、習熟度別指導などの個に応じた指導に柔軟に活用できるようにしました。(第一、二号) ●単元で使った見方・考え方を確認する問題を適宜取り入れました。(第一、二号) ●文章量の多い問題を取り入れ、読解力を育成できるようにしました。(第一、二号)	p.36～37、 p.162～163、 p.210～211など
	学んだことを生かそう	●単元での学習を他の問題や身の回りの生活などに生かす問題を設定しました。(第二号)	p.72、120など
	読み取る力を のばそう	●各種の学力調査で課題とされている、読解力・活用力・表現力を育成するため、「読み取る力をのばそう」を掲載しました。(第一、二号)	p.121、180、 197、237
	ふくろう先生の なるほど算数教室	●「ふくろう先生のなるほど算数教室」では、興味・関心を高めたり、算数が社会で生かされていることを実感したりできるようにしました。(第一、二号) ●算数を生かして仕事をされている方へのインタビューを掲載し、「発行者」のウェブサイトにもその動画も掲載しました。(第二号)	p.38～39、152、 215、216～217、 259、262～ 263
	プログラミングに ちょうせん！	●プログラミングに触れる特設ページを全学年に設け、プログラミング的思考をのばすことができるようにしました。2～6年では、アンブラグドプログラミングとビジュアルプログラミングの両方を掲載しました。(第一、二号)	p.94～95、212 ～213
巻末	数直線図のかき方	●数直線図のかき方の理解・定着を図るために、手順を細かく解説する特設ページを設けました。(第一、二号)	p.268～269
	プラス・ワン	●巻末補充問題「プラス・ワン」を全単元にわたって設定し、基礎的・基本的な知識・技能を定着させることができるようにしました。(第一、二号)	p.270～285
	中学校の数学では こんなことを学ぶよ	●5年生の学習の中で中学校数学へのつながりが強いものを取り上げ、数学の内容を紹介するページを設けました。(第一号、第二号)	p.286
その他	イラストや写真	●キャラクターの2人を外国にルーツをもつ児童に設定。また、イラストや写真にも適宜、外国にルーツをもつ人を掲載し、異文化理解を促すようにしました。(第三、五号) ●イラストの中などに、車椅子や白杖を使っている人を入れ、障がい者に対する理解を促すようにしました。(第三、五号)	p.17、102、 168、204など p.137、171、 193など
	環境などに 配慮した問題	●算数を通してSDGsを知る特設ページを設けました。(第四号) ●自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うため、問題場面などに適宜、環境問題などに関連したものを掲載しました。(第四号)	p.139、152、 171
	特別支援教育・ユニ バーサルデザインに 配慮した紙面構成	●専門家の監修のもと、全面的にユニバーサルデザインフォントを使用したり、カラーユニバーサルデザインをふまえた配色を工夫したりするなど、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。(第一号)	全体
	デジタル コンテンツ	●知識・技能を定着させたり、容易に試行錯誤したりすることができるよう、デジタルコンテンツを用意し、対応する箇所にマークを付しました。(第一、二号)	全体

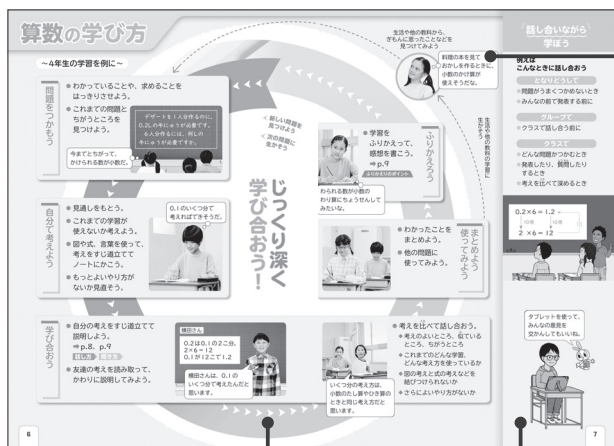
編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-128	小学校	算数	算数	5 学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
4 大日本	算数 514	新版 たのしい算数 5 年		

I 編修上特に意を用いた点や特色

1 学習の進め方がよくわかる巻頭「算数の学び方」



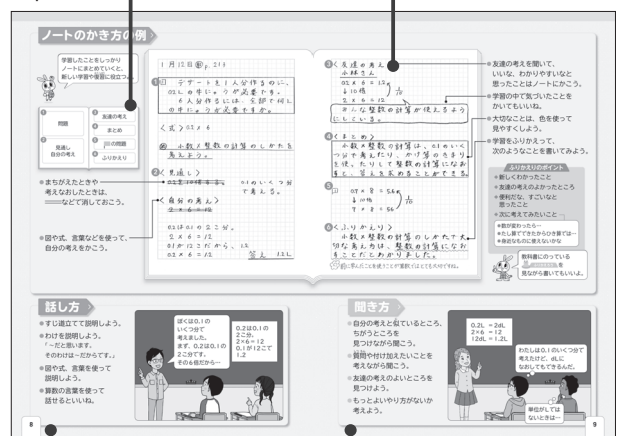
▲p.6~7

学習の進め方・問題解決の流れをサイクル状に示し、学習を発展的にひろげていく態度を促すようにしました。

ペアやグループでの対話的な学びの例やタブレットを活用した例を提示しました。

生活や他教科に学習を生かす様子も例示しました。

▼p.8~9

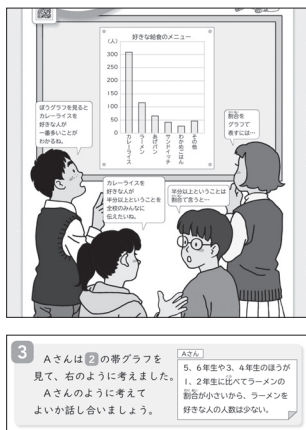


ノートにかく内容の概要と、具体的なノート例を掲載しました。

発表のポイントや、友達の発表を聞くときの姿勢についても掲載しました。

2 統計的な問題解決を重視した統計単元

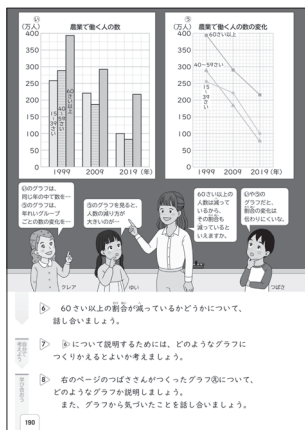
▼p.181



▲p.185

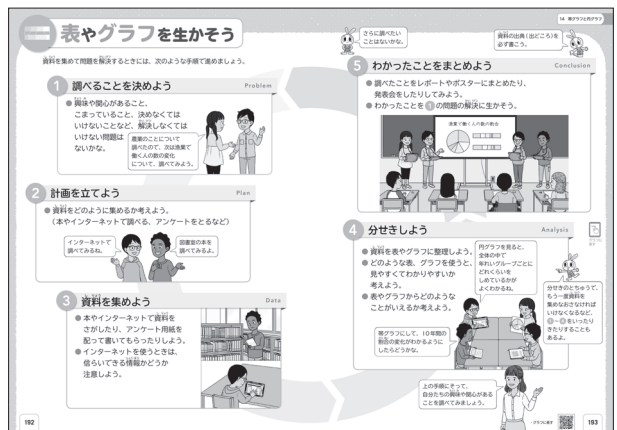
導入では、問題を見いだす場面を提示。単元内では、批判的に考察する問題も設けました。

▼p.190



観点を自分で決め、学習した表やグラフを活用して問題解決する課題を設けました。

▼p.192~193

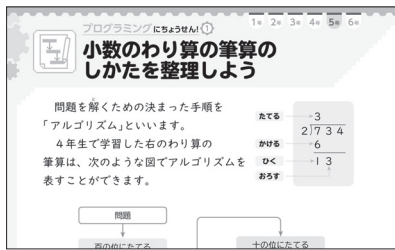


統計的問題解決の5つの段階を示した「表やグラフを生かそう」を掲載しました。また、グラフが作成できるデジタルコンテンツを設け、レポート作成などに活用できるようにしました。

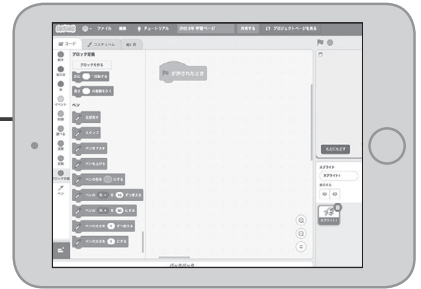
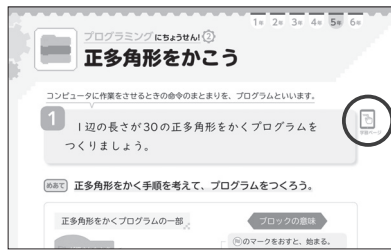
3 プログラミングページの充実

コンピュータを使わないアンプラグドプログラミングと、コンピュータを使うビジュアルプログラミングの両方を用意しました。数学的活動を通して、プログラミング的思考に触れることができます。

▼ p.94

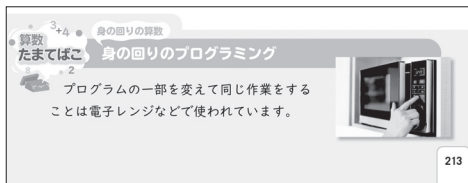


▼ p.212



アンプラグドプログラミング

Scratch を使った
ビジュアルプログラミング



学習したプログラミング的思考と同じ考え方が身の回りで使われている例を紹介するコーナーを新設しました。

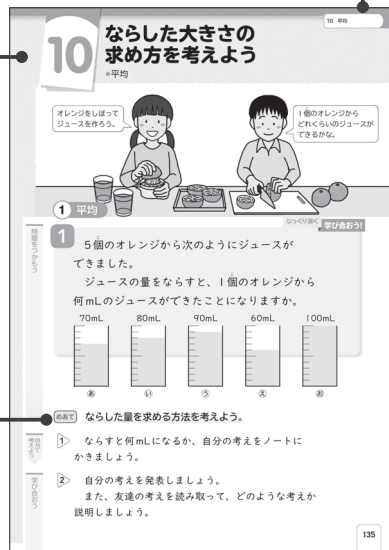
◀ p.213

4 使いやすく機能的な紙面構成

学習のつながりが
わかりやすい、
領域別単元カラー

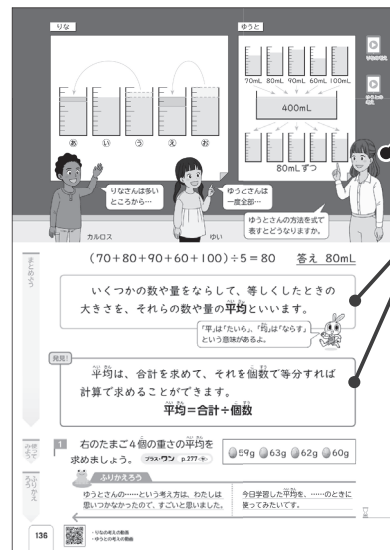
緑 : 数と計算
ピンク : 図形
青色 : 変化と関係
オレンジ : データの活用

本時の学習内容がひと
目でわかる、学習の
めあて (2年以降の
全時間に設定)



▲ p.135

ふりかえりをするとき
探しやすいインデックス



▲ p.136

授業の流れがイ
メージしやすい、
授業場面イラスト
や吹き出し

児童が見いだすこ
とと、先生が教え
ることを、赤枠と
青枠で区別

1時間の区切りの
目安を示す砂時
計マーク



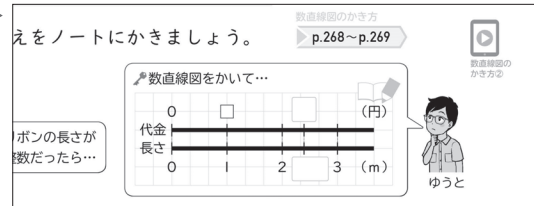
解決方法を見せない右ページ始まり

5 学年間の系統性、幼児教育・中学校との接続に配慮



目次では、既習事項とのつながり、今後の学習との
つながりを明示しました。

p.73▶

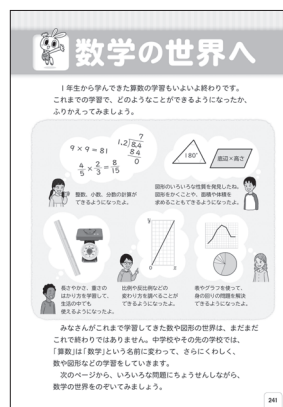


◀ 表紙裏

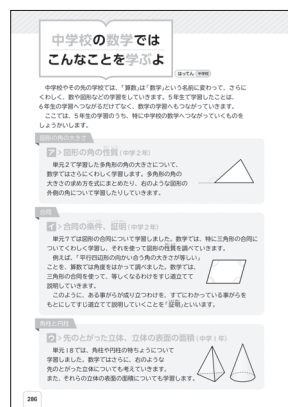
演算決定などで使う図については、6学年を通し
て系統的に扱い、徐々に使いこなすことができる
ように配慮しました。



1年では、入学初期の学習内容を分冊化し、A4判にすることで活動しやすくするなど、これまで以上に幼児教育との接続に配慮しました。また、幼稚園・保育園とのつながり示唆するオープニングページを設定し、単元の学習でもスタートカリキュラムをふまえた内容を意識しました。



▲6年p.241



▲p.286

5、6年では、**中学校の学習との接続**を意図した特設を設置。数学へとつながる問題・活動や、数学の内容を紹介するページを設けました。

6 専門家監修のもと特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮

全面的にUDフォントを使用

本文や吹き出し、ページ番号など、全面的に、見やすく読みやすい**ユニバーサルデザインフォント**を使用しました。特に教科書体は、**デジタル教科書でも読みやすい書体**を採用しました。



読みやすい位置での改行

単語の途中で改行せず、**読みやすい位置で改行**をしています。

1個のオレンジからどれくらいのジュースができるかな。

ページ番号 ページ番号は**枠で囲む**とともに**太い書体**を採用し、判別しやすくしました。

55

カラーユニバーサルデザイン

色覚の特性によらず情報が読み取れるよう、**配色に配慮**しました。インデックスなどでは、**デザイン上の工夫**を施し、より判別しやすくしました。

10 平均

問題解決の段階を示すタグ

問題解決の段階を示したタグは、特別な配慮を必要とする児童を含め、全ての児童にとって**今何をしているかが把握しやすく**、安心して学習に取り組めるようになります。

問題をつかもう

7 専門家監修のもと様々な現代的な課題に対応



〈外国語〉
図形の学習に関連させ、**海外のデザイナーの方へのインタビュー**を掲載しました。

▲p.263

〈SDGs〉算数の学習に関連させてSDGsを知る特設ページを設けました。

SDGsの特設ページにはマークを付しました。



〈異文化理解〉
キャラクターの2人を**外国にルーツをもつ児童**に設定。挿絵や写真でも適宜外国にルーツをもつ人々を掲載しました。

ふりかえりのポイント
◆新しくわかったこと
◆友達の考えのよかったところ
◆便利だな、すごいなと思ったこと
◆次に考えてみたいこと

◆質問や付け加えたいことを考えながら聞こう。
◆友達の考えのよいところを見つけよう。
◆もっとよいやり方がないか考えよう。

〈道徳教育〉**友達の考えのよいところ**を見つけることを促す記述を取り入れるなど、道徳教育との関連をはかりました。

▼p.9

〈他教科との連携〉

他教科との関連を**マーク**で示しました。(p.133)

〈防災教育〉**防災備蓄倉庫**に備蓄されている水や食料などが何人分か、また何日分かを求める問題を取り入れました。(p.152)

教科書の特色

教育基本法の遵守	●教育基本法第1条の「教育の目標」を実現するために、同2条の「教育の目標」の達成を目指して編修しました。
学習指導要領の遵守	●算数科の学習指導要領に記載された項目を全て取り上げました。
主体的・対話的で深い学びへの対応	●巻頭の「算数の学び方」において、ペア・グループ学習などの対話的な学びの方法を例示しました。(p.6～9) ●「じっくり深く学び合おう」の時間では、多様な解決方法を比較検討して話し合う活動などを通じて、深い学びが実現するように配慮しました。(p.27～31、p.43～44など)
基礎的・基本的な知識・技能の習得	●毎時の適用問題を豊富に掲載するとともに、巻末補充問題「プラス・ワン」を全単元にわたって設定しました。(p.78、172など、p.270) ●学年1冊本とすることで、既習事項のふりかえりがしやすくなるようにしました。また、ふりかえりが特に有効なところでは、リンクマークを付しました。(p.161、208、240など)
思考力・判断力・表現力等の育成	●本時のまとめでは、考え方に焦点をあてたまとめを適宜取り入れました。(p.60、145など) ●様々な場面で使える見方・考え方を「ひらめきアイテム」として設定しました。学習を進める中で獲得し、巻頭でこれまでの考え方と統合することができます。また、獲得した考え方を活用できるなど、展開を工夫しました。(p.11～15、44、73など) ●シミュレーションのデジタルコンテンツを従来よりも豊富に用意し、容易に試行錯誤ができるようにしました。(p.43、251など)
学びに向かう力、人間性等の涵養	●単元の導入などは、児童自身が問題や疑問を見だし、主体的に学習に取り組めるような題材を工夫しました。(p.122～123、238など) ●「ふくろう先生のなるほど算数教室」では、算数への興味・関心を高めたり、算数が社会で生かされていることを実感したりすることができるようにしました。(p.38～39、259など)
個に応じた指導	●水色の印で適用問題のタイプ分けを提示するとともに、巻末補充問題「プラス・ワン」を全単元にわたって設定し、時間調整や習熟度別指導に対応しやすくしました。(p.50、228など、270～285) ●単元末の「たしかめ問題」には、「しっかりチェック」を設け、習熟度別指導などの個に応じた指導の際に、柔軟に活用できるようにしました。(p.36～37など)
学年間の系統性への配慮、幼保小の連携、小中の接続	●目次では、既習事項とのつながり、今後の学習とのつながりを明示しました。(表紙裏～p.1) ●1年では、入学直後の学習内容を分冊化し、判型を大きくし扱いやすくしました。また、その巻頭では、幼稚園・保育園とのつながりを示唆するオープニングページを設定し、入学初期の児童に、安心感と期待感をもたせるようにしました。 ●5、6年では、中学校の学習との接続を意図した特設ページを設置しました。(p.286)
ICT教育への対応	●無料のデジタルコンテンツを豊富に用意し、対応するページに2次元コードを付しました。練習問題だけでなく、動画やシミュレーションコンテンツなども設けています。(p.43、104など) ●プログラミング教育に対応したページを全学年に設けました。(p.94～95、212～213)
道徳教育との関連	●友達の考えのよさを見つけることを促す記述を取り入れるなど、道徳との連携にも配慮しました。(p.9など)
他教科との関連	●他教科に関連した題材を適宜扱うとともに、関連していることをマークで示しました。(p.111など)
現代的な諸課題への対応	●異文化理解を促すため、キャラクターの2人を外国にルーツをもつ児童としたり、イラストや写真の中でも、適宜外国にルーツをもつ人々を掲載しました。(p.17、27、102、168など) ●算数で学習したことを通して、SDGsを知ることができる特設ページを設けました。(p.152、262～263など)
伝統文化を尊重する態度の育成	●和算を題材とした特設ページを設けるなど、日本の伝統文化を尊重する態度を育成することができるようにしました。(p.216～217)
評価への対応	●適用問題を豊富に設け、単元末には「たしかめ問題」を設定することで、評価としても活用することができるようにしました。(p.26、p.36～37など) ●「ふりかえろう」を設置し、学習感想を書かせることで、評価の資料とすることができるようにするとともに、自己評価をすることができるようにしました。また、単元全体をふりかえることができるよう、単元末の「たしかめ問題」にも「ふりかえろう」を設置しました。(p.22など)
家庭・地域社会との連携	●家庭や地域においても算数を活用する態度を育成できる題材を工夫しました。(p.150、169など)
安全への配慮	●教室外の活動などでは、安全に行うことができるものを採用しました。(p.245など) ●インターネットを使用する際には、情報の信憑性について注意するよう記載しました。(p.192)
配列・分量	●学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との連携を総合的に考慮し、適切な単元配列を組みました。 ●単元の学習は必要かつ十分なものを取り上げ、年間の予備時数も十分に確保しました。 ●単元内の問題は、授業時間を考慮しながら、知識・技能を定着させるために豊富に用意しました。
特別支援教育、ユニバーサルデザインへの対応	●専門家の監修のもと、文節単位での改行、全面的なユニバーサルデザインフォントの使用、カラーユニバーサルデザインをふまえた配色などの工夫を行い、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。
印刷・製本	●環境に配慮した紙と植物油インキを使用しています。表紙は、丈夫で汚れにくくなるよう加工し、光触媒を利用した抗菌・抗ウイルス処理をしています。 ●製本は児童にとって安全で、奥までよく開くアジロ綴じを採用しています。

Ⅱ 対照表

第5学年

二重線は3学期制の区切り、太破線は2期制の区切り

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所 ページ	配当 時数	用語・記号
巻頭	「たのしい算数」の使い方		2～5	—	
	算数の学び方		6～9	—	
	算数の大切な考え方		10～15	—	
本文	①整数と小数	A (2) ア (ア)、イ (イ)	16～22	3	
	復習		23	—	
	②図形の角の大きさ	B (1) ア (イ)、イ (ア)、内容の取り扱い (2)	24～37	6	
	しきつめアートをつくろう		38～39	—	
	③2つの量の変わり方	A (6) ア (ア)、イ (ア)、C (1) ア (ア)、イ (ア)	40～42	2	比例 41
	④小数のかけ算	A (3) ア (ア) (イ) (ウ)、イ (ア)	43～56	12	
	復習		57	—	
	⑤体積	B (4) ア (ア) (イ)、イ (ア)	58～72	10	
	⑥小数のわり算	A (3) ア (ア) (イ) (ウ)、イ (ア)	73～93	18	
	小数のわり算の筆算のしかたを整理しよう		94～95	—	
	⑦合同な図形	B (1) ア (ア)、イ (ア)	96～106	7	
	どんな計算するのかな		107	1	
	復習		108	—	
	⑧整数の性質	A (1) ア (ア) (イ)、イ (ア)、内容の取り扱い (1)	109～120	8	最大公約数 116、 最小公倍数 112
	ピンゴにならないためには		121	1	
	⑨分数のたし算とひき算	A (4) ア (ウ) (イ)、イ (ア)、(5) ア (ア)、イ (ア)	122～133	9	通分 126、約分 128
	⑩平均	D (2) ア (ア)、イ (ア)	134～141	6	
	⑪単位量あたりの大きさ	C (2) ア (ア)、イ (ア)	142～151	5	
	災害への備えを考えよう		152	—	
	復習		153	—	
	⑫分数と小数、整数	A (4) ア (ア) (イ)、イ (イ)	154～163	7	
	⑬割合	C (3) ア (ア) (イ)、イ (ア)、内容の取り扱い (4)	164～179	10	% 168
	どの割引券を使おうかな		180	1	
	⑭帯グラフと円グラフ	D (1) ア (ア) (イ)、イ (ア)、内容の取り扱い (5)	181～196	6	
	どこが安いかな		197	1	
	⑮正多角形と円	B (1) ア (ウ) (イ)、イ (ア)、内容の取り扱い (3)	198～211	9	
	正多角形をかこう		212～213	—	
	復習		214	—	
	円周率の歴史		215	—	
	江戸時代の高度な数学		216～217	—	
	⑯四角形と三角形の面積	B (3) ア (ア)、イ (ア)	218～236	12	
	面積は変わるかな		237	1	
	⑰速さ	C (2) ア (ア)、イ (ア)	238～247	6	
	⑱角柱と円柱	B (2) ア (ア)、イ (ア)	248～258	7	底面、側面 251
	芯を切り開くと？		259	—	
	変わり方を調べよう	A (6) ア (ア)、イ (ア)	260～261	1	
	算数お仕事インタビュー		262～263	—	
	5年の復習		264～267	2	
			合計	151	
巻末	数直線図のかき方		268～270	—	
	プラス・ワン		270～285	—	
	中学校の数学ではこんなことを学ぶよ		286	—	
	さくいん		293	—	

〔数学的活動〕

学習指導要領の内容	該当箇所ページ
1 (ア)	40～41、59～61、109～110、111～112、115～116、135～136、140、143～145、165～167、171～172、173～174、175、176、181～183、188～191、203、239～241、243、244
1 (イ)	24～26、27～31、32～33、35、43～46、47、49、53、54、63～65、73～76、77、79、97～98、101～103、104、122～124、129、154～157、161、199～200、209、218～220、223、225～226、229、230、232～233、234、248～250
1 (ウ)	27～31、32～33、43～46、47、49、59～61、63～65、73～76、77、79、87、88～90、101～103、122～124、129、135～136、143～145、155～157、158、165～167、171～172、173～174、182～183、188～191、209、219～220、223、225～226、229、230、232～233、239～241、243、244、248～250

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-128	小学校	算数	算数	5 学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
4 大日本	算数 514	新版 たのしい算数 5 年		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
34	多角形の角の大きさの和	1	B(1)ア(イ) 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解すること。	1
286	多角形の角の大きさの和	1	B(1)ア(イ) 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解すること。	0.25
286	合同条件、証明	1	B(1)ア(ア) 図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに、図形の合同について理解すること。	0.5
286	錐体	1	B(2)ア(ア) 基本的な角柱や円柱について知ること。	0.25
合計				2

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容